

令和5年度 e・アンケートモニター

第2回アンケートNo.1 調査結果

テーマ 「動物の愛護管理の推進に向けた取組について」

I 調査の概要

1 調査の目的

国民の約3割が動物を飼育し、犬及び猫の飼育数は約1,600万頭に上っており、少子高齢化・核家族化の進展とともに、今後ますます、人と動物の関わりは重要になるものと考えています。

こうした中、県では、人と動物の調和のとれた快適な暮らしづくりを進めていくための具体的な計画として「山口県動物愛護管理推進計画」を策定（令和3年3月改定）し、動物の愛護と適正飼育の啓発に関する諸事業に取り組んでいます。

このたび、動物愛護管理の推進に関する御意見を伺い、今後の具体的な取組を推進するに当たっての参考とさせていただくため、調査を実施します。

2 調査実施期間

令和5年11月9日(木)～11月30日(木)

3 調査対象

令和5年度e・アンケートモニター 107人

4 回答状況

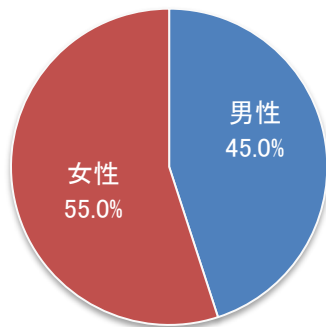
回答者 80人(回答率 74.8%)

5 調査担当課

山口県環境生活部生活衛生課

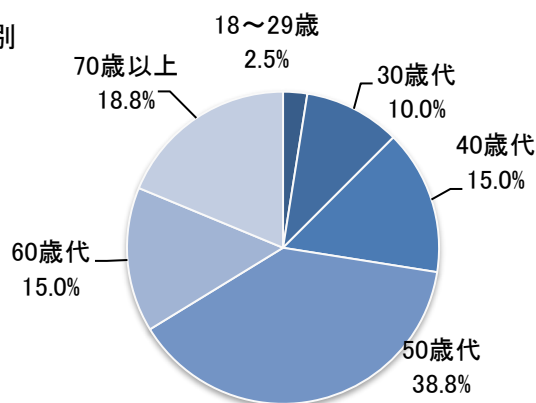
II 回答者の属性

■性別



区分	人数	%
男性	36	45.0
女性	44	55.0
計	80	100.0

■年代別



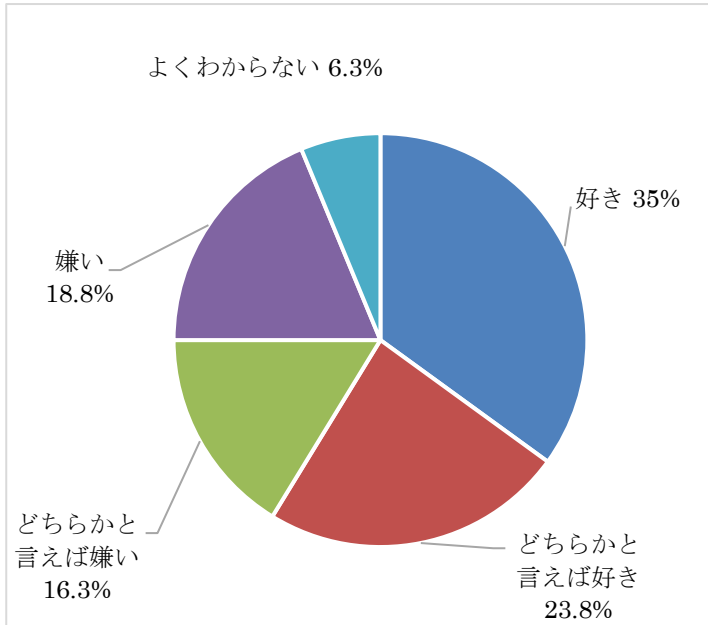
区分	人数	%
18～29歳	2	2.5
30歳代	8	10.0
40歳代	12	15.0
50歳代	31	38.8
60歳代	12	15.0
70歳以上	15	18.8
計	80	100.1

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

Ⅲ 調査結果

【ペット動物の飼育状況について】

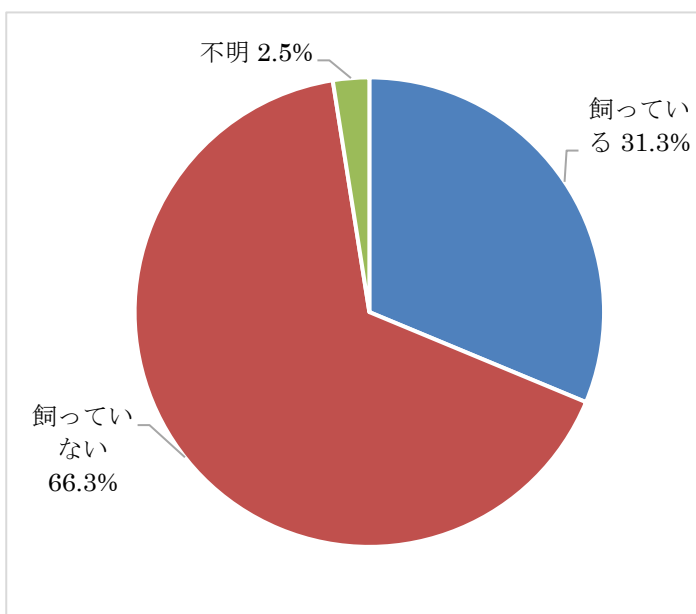
Q 1 あなたはペット動物を飼うのが好きですか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
好き	28	35.0
どちらかと言えば好き	19	23.8
どちらかと言えば嫌い	13	16.3
嫌い	15	18.8
よくわからない	5	6.3
計	80	100.2

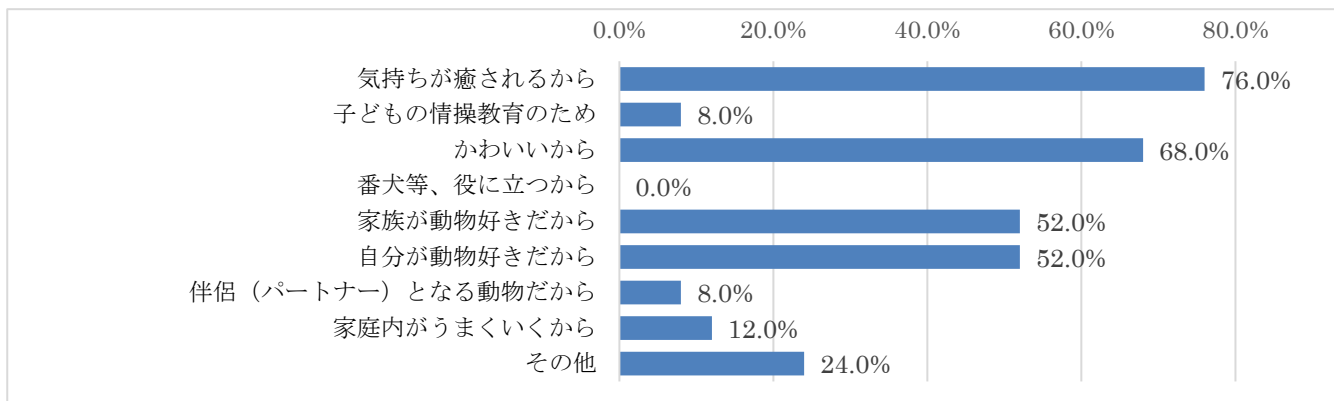
Q 2 あなたやあなたの家族がペット動物を飼っていますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
飼っている	25	31.3
飼っていない	53	66.3
不明	2	2.5
計	80	100.1

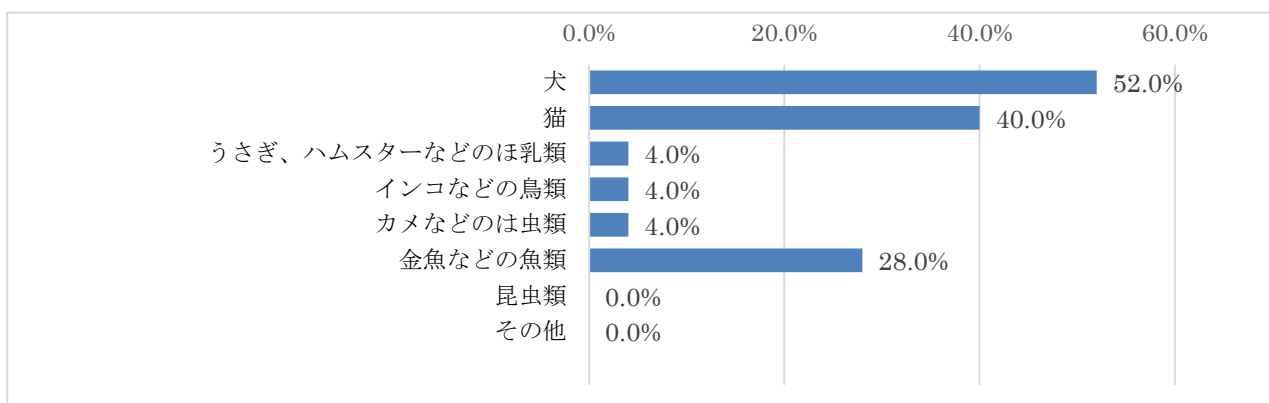
Q3 Q2で「1. 飼っている」と回答された方
ペット動物を飼っている理由は何ですか。(いくつでも)



(n = 25)

選択肢	人数	%
気持ちが癒されるから	19	76.0
子どもの情操教育のため	2	8.0
かわいいから	17	68.0
番犬等、役に立つから	0	0.0
家族が動物好きだから	13	52.0
自分が動物好きだから	13	52.0
伴侶(パートナー)となる動物だから	2	8.0
家庭内がうまくいくから	3	12.0
その他	6	24.0

Q4 どのようなペット動物を飼っていますか。(いくつでも)



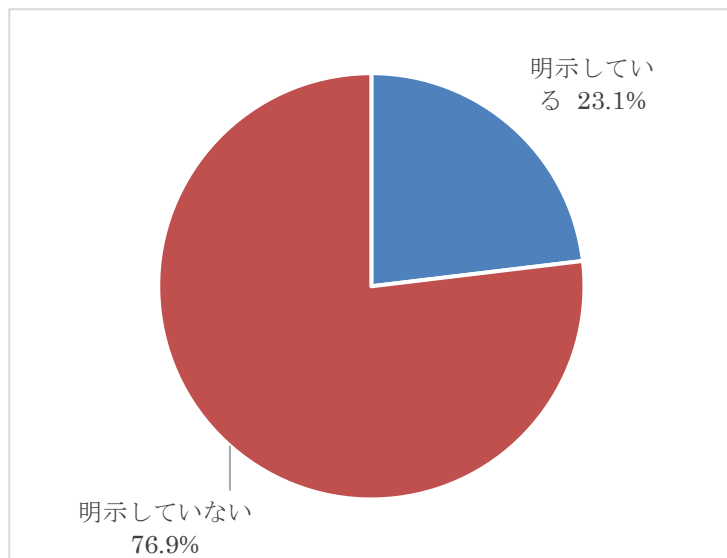
(n = 25)

選択肢	人数	%
犬	13	52.0
猫	10	40.0
うさぎ、ハムスターなどのほ乳類	1	4.0
インコなどの鳥類	1	4.0
カメなどは虫類	1	4.0
金魚などの魚類	7	28.0
昆虫類	0	0.0
その他	0	0.0

Q5 Q4で「1. 犬」と回答された方

飼っている犬に、名札や首輪、マイクロチップなどを装着し、飼主の氏名や住所などが分かるように明示していますか。(1つのみ)

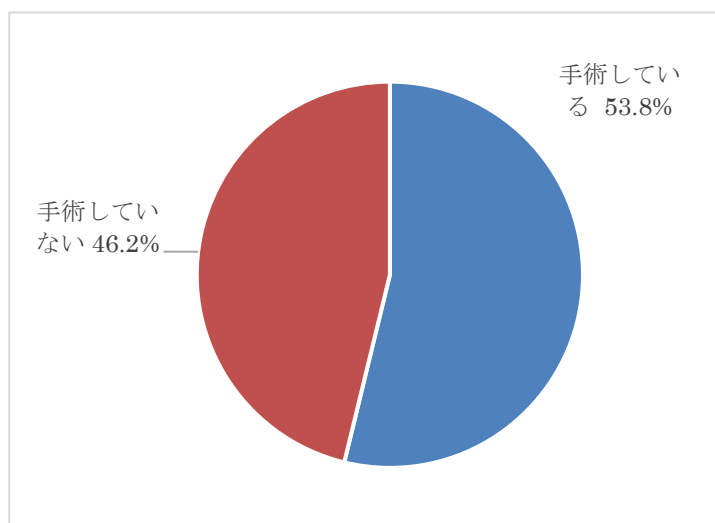
(n = 13)



選択肢	人数	%
明示している	3	23.1
明示していない	10	76.9
計	13	100.0

Q6 飼っている犬は、去勢または不妊の手術を行っていますか。(1つのみ)

(n = 13)



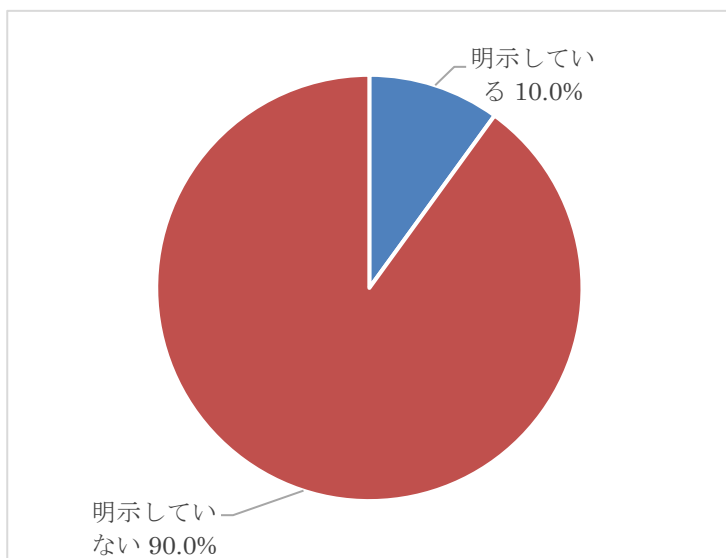
選択肢	人数	%
手術している	7	53.8
手術していない	6	46.2
計	13	100.0

Q7 Q6で「2. 手術していない」と回答された方
去勢または不妊の手術を行わない理由は何ですか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
面倒だから	0	0.0
手術費用が高いから	0	0.0
まだ子犬だから	0	0.0
子犬を産ませたいから	0	0.0
かわいそうだから	0	0.0
手術以外の方法で繁殖をふせいでいるから	3	50.0
手術する必要がないと考えているから	3	50.0
その他	0	0

(n = 6)

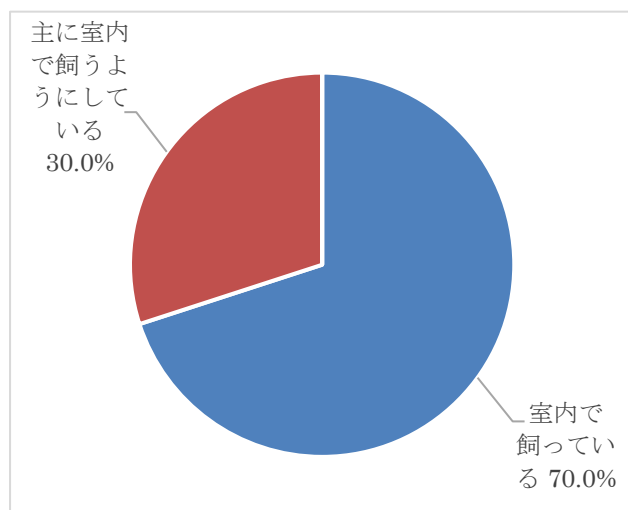
Q8 Q4で「2. 猫」と回答された方
飼っている猫に、名札や首輪、マイクロチップなどを装着し、飼主の氏名や住所などが分かるように明示していますか。(1つのみ)



(n = 10)

選択肢	人数	%
明示している	1	10.0
明示していない	9	90.0
計	10	100.0

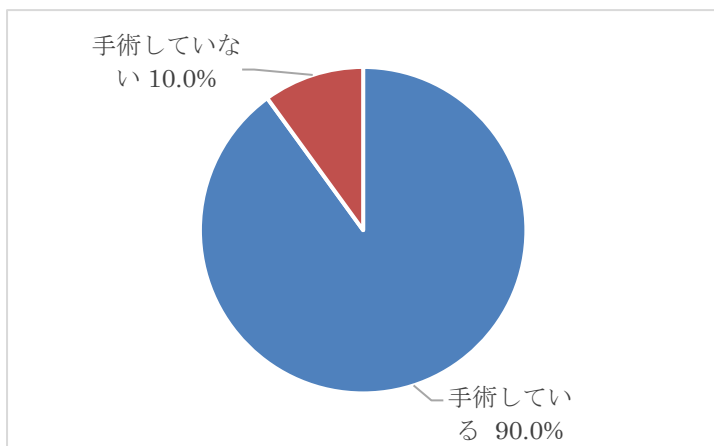
Q9 猫はどのように飼っていますか。(1つのみ)



(n = 10)

選択肢	人数	%
室内で飼っている	7	70.0
主に室内で飼うようにしている	3	30.0
屋外で放し飼いに行っている	0	0.0
その他	0	0.0
計	10	100.0

Q10 飼っている猫は、去勢または不妊の手術を行っていますか。(1つのみ)



(n = 10)

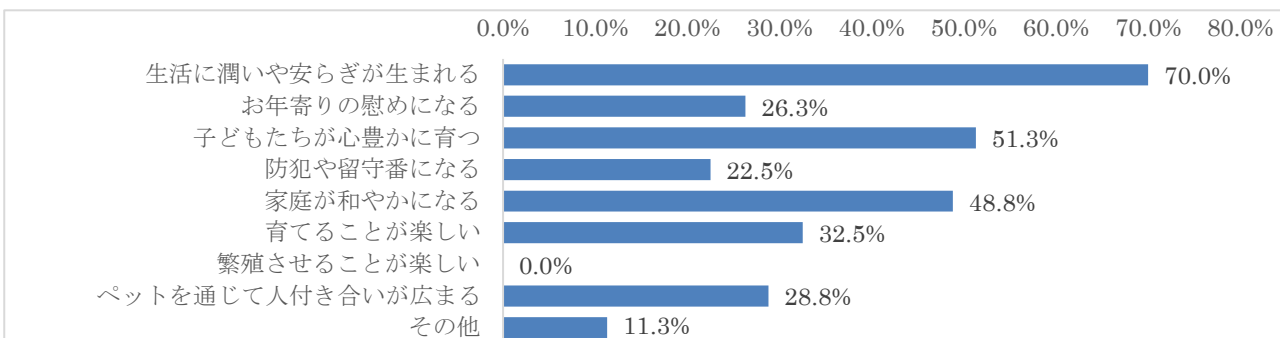
選択肢	人数	%
手術している	9	90.0
手術していない	1	10.0
計	10	100.0

Q11 Q10で「2. 手術していない」と回答された方
去勢または不妊の手術を行わない理由は何ですか。(いくつでも)

選択肢	人数	%
面倒だから	0	0.0
手術費用が高いから	0	0.0
まだ子猫だから	0	0.0
子猫を産ませたいから	1	100.0
かわいそうだから	0	0.0
手術以外の方法で繁殖をふせいでいるから	0	50.0
手術する必要がないと考えているから	0	50.0
その他	0	0

(n = 1)

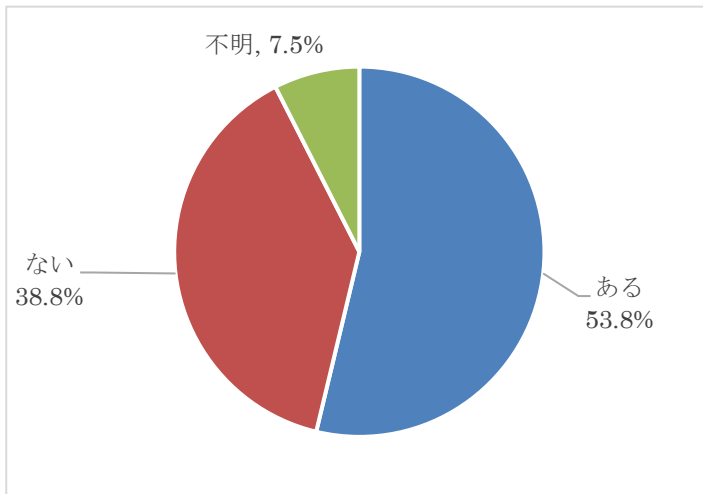
Q12 ペット動物を飼うことによって、どのようなよいことがあると思いますか。
(いくつでも)



選択肢	人数	%
生活に潤いや安らぎが生まれる	56	70.0
お年寄りの慰めになる	21	26.3
子どもたちが心豊かに育つ	41	51.3
防犯や留守番になる	18	22.5
家庭が和やかになる	39	48.8
育てることが楽しい	26	32.5
繁殖させることが楽しい	0	0.0
ペットを通じて人付き合いが広まる	23	28.8
その他	9	11.3

(n = 80)

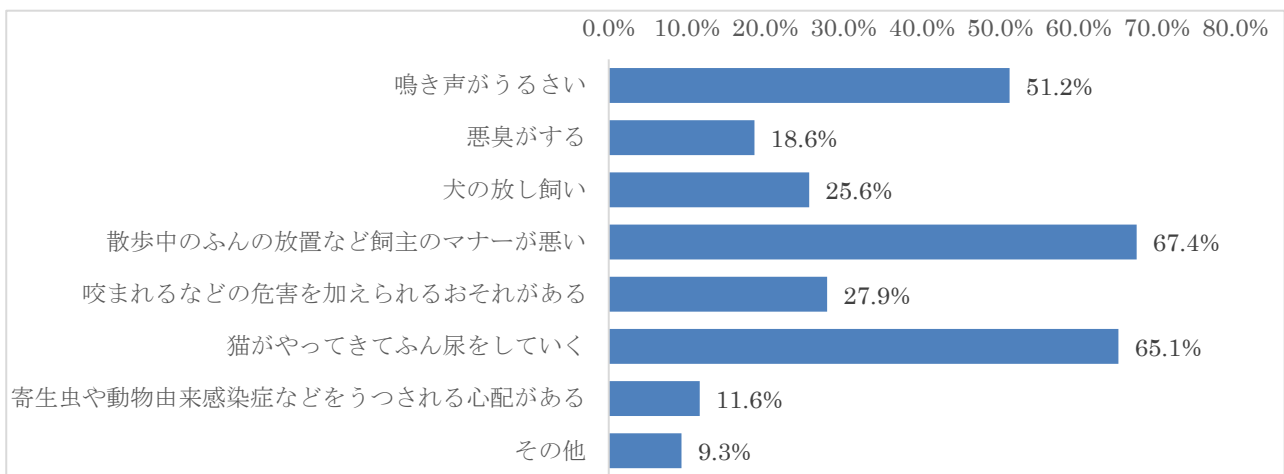
Q13 他人がペットを飼っていることによって、迷惑を感じたことがありますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
ある	43	53.8
ない	31	38.8
不明	6	7.5
計	80	100.1

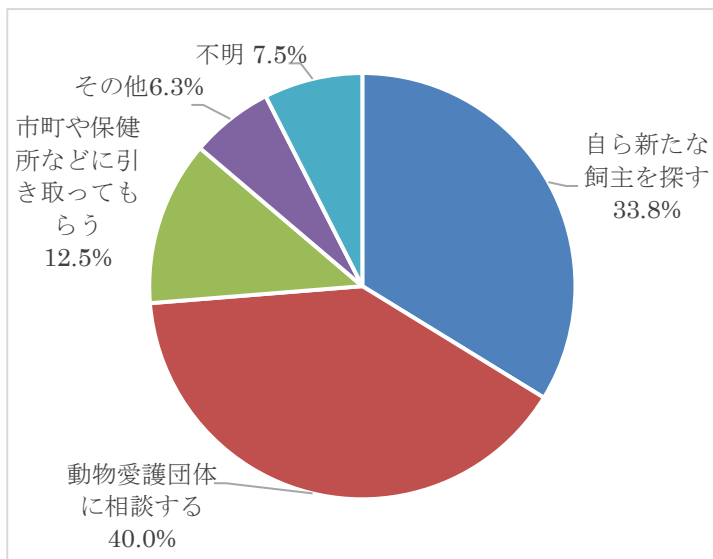
**Q14 Q13で「1. ある」と回答された方
どのようなことに迷惑を感じますか。(いくつでも)**



選択肢	人数	%
鳴き声がうるさい	22	51.2
悪臭がする	8	18.6
犬の放し飼い	11	25.6
散歩をしている人がふんの放置など飼主のマナーが悪い	29	67.4
咬まれるなどの危害を加えられるおそれがある	12	27.9
猫がやってきてふん尿をしていく	28	65.1
寄生虫や動物由来感染症などをうつされる心配がある	5	11.6
その他	4	9.3

(n = 43)

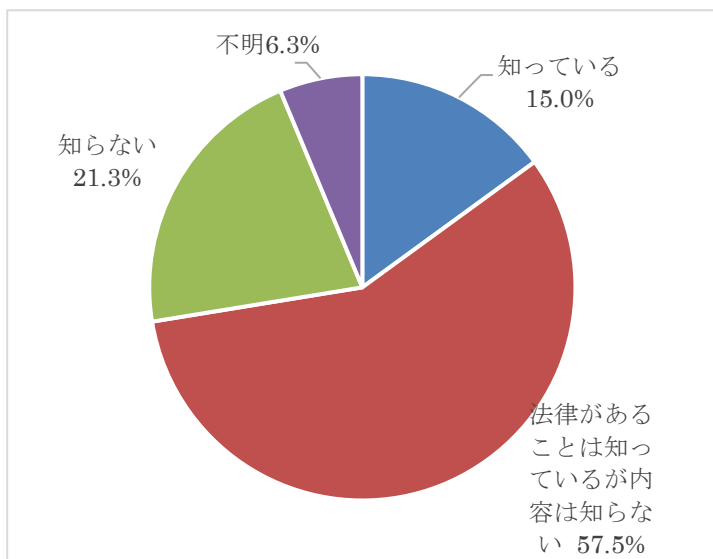
Q15 家で飼っている犬や猫などが、いろいろな事情で飼えなくなった場合、どうするのがよいと思いますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
自ら新たな飼主を探す	27	33.8
動物愛護団体に相談する	32	40.0
市町や保健所などに引き取ってもらう	10	12.5
その他	5	6.3
不明	6	7.5
計	80	100.1

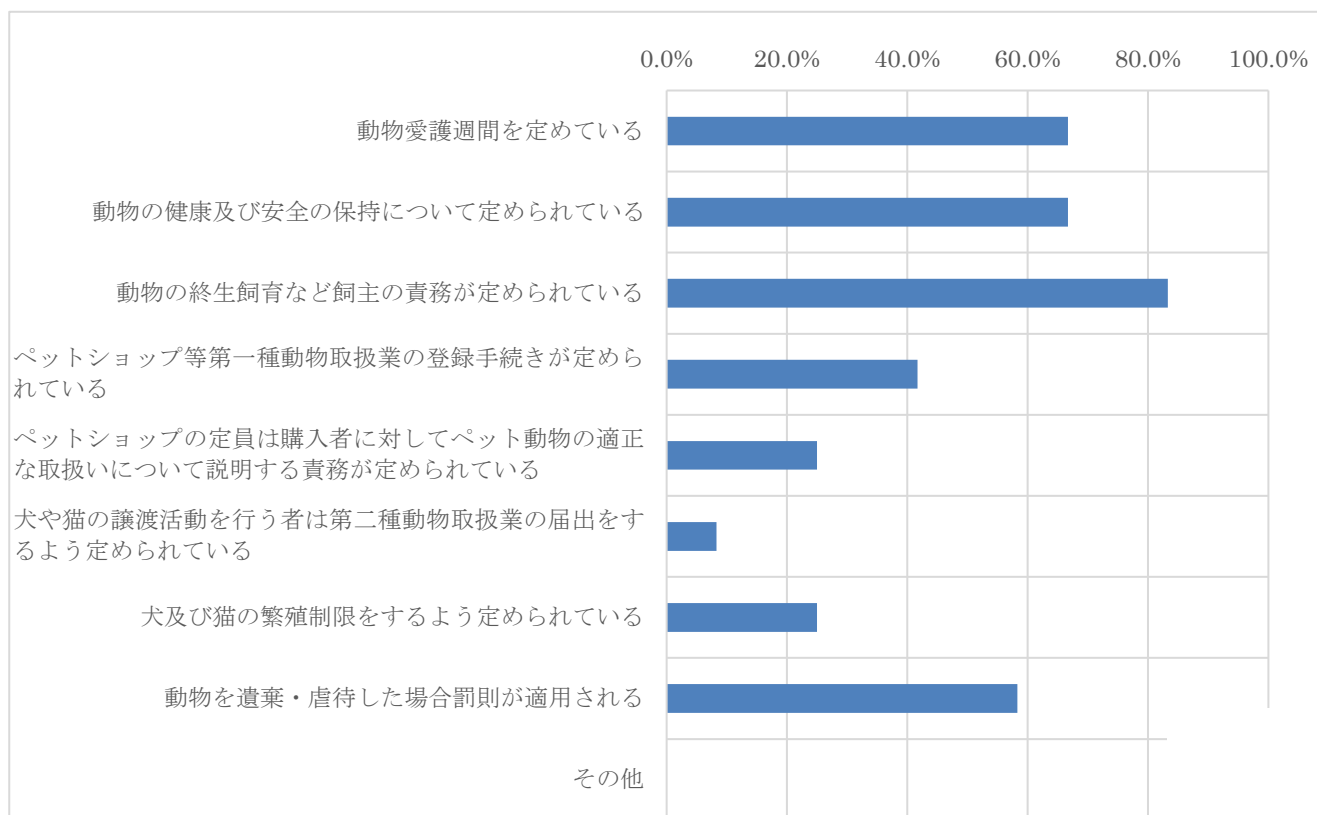
Q16 「動物の愛護及び管理に関する法律」(動物の愛護と動物の望ましい飼い方について定めた法律)がありますが、この法律を知っていますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
知っている	12	15.0
法律があることは知っているが内容は知らない	46	57.5
知らない	17	21.3
不明	5	6.3
計	80	100.1

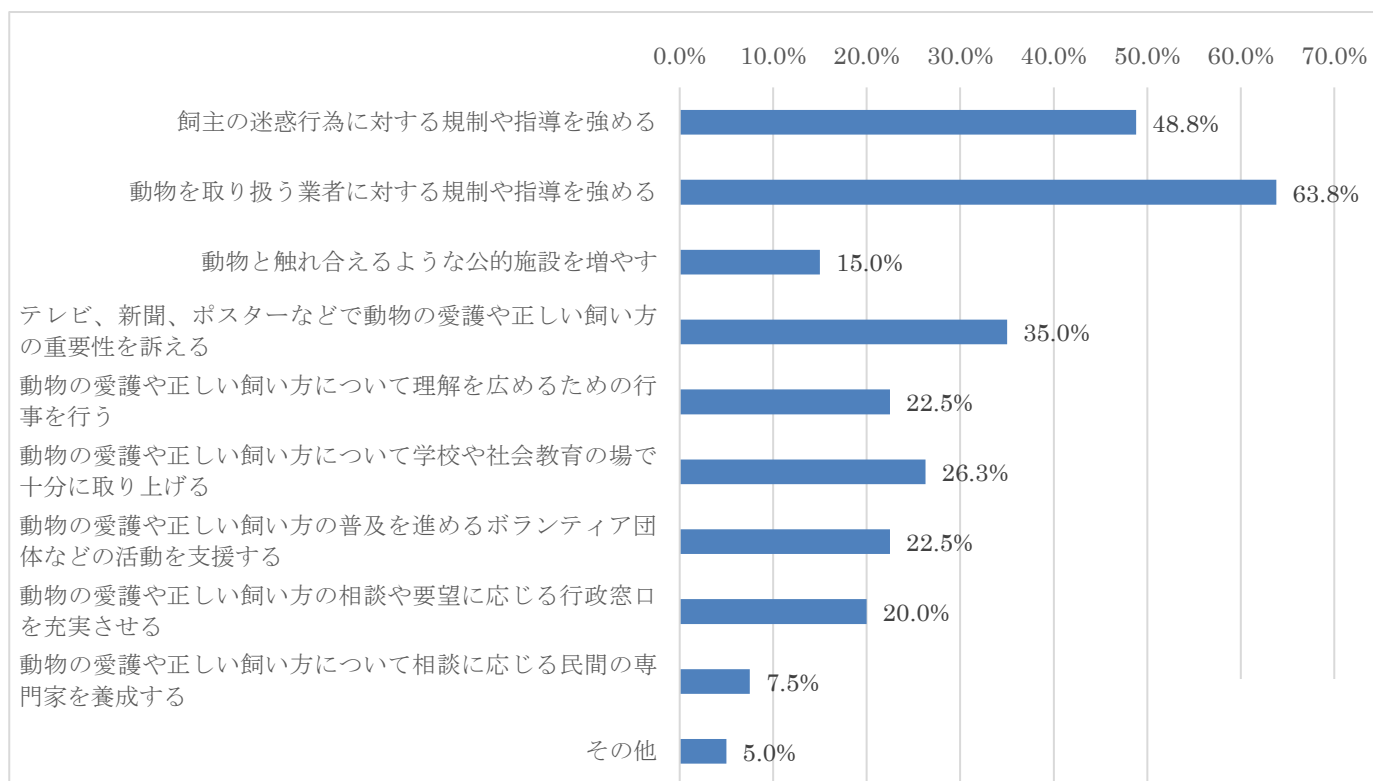
Q17 Q16で「1. 知っている」と回答された方
知っている内容を次の中からあげてください。(いくつでも)



(n = 12)

選択肢	人数	%
動物愛護週間を定めている	8	66.7
動物の健康及び安全の保持について定められている	8	66.7
動物の終生飼育など飼主の責務が定められている	10	83.3
ペットショップ等第一種動物取扱業の登録手続きが定められている	5	41.7
ペットショップの店員は購入者に対してペット動物の適正な取扱いについて説明する責務が定められている	3	25.0
犬や猫の譲渡活動を行う者は第二種動物取扱業の届出をするよう定められている	1	8.3
犬及び猫の繁殖制限をするよう定められている	3	25.0
動物を遺棄・虐待した場合、罰則が適用される	7	58.3
その他	0	0.0

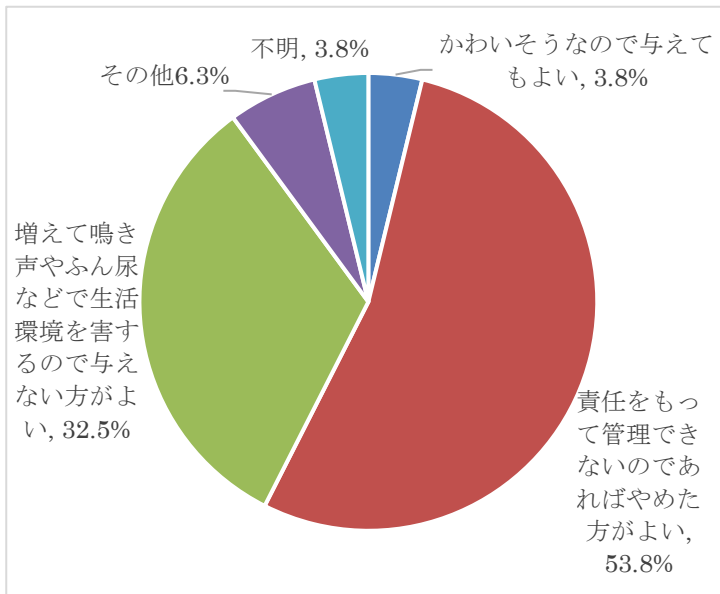
Q18 動物の愛護や適正な飼育の推進のために、行政が取り組むべきことは何だと思えますか。(3つまで)



(n = 80)

選択肢	人数	%
飼主の迷惑行為に対する規制や指導を強める	39	48.8
動物を取り扱う業者に対する規制や指導を強める	51	63.8
動物と触れ合えるような公的施設を増やす	12	15.0
テレビ、新聞、ポスターなどで動物の愛護や正しい飼い方の重要性を訴える	28	35.0
動物の愛護や正しい飼い方について理解を広めるための行事を行う	18	22.5
動物の愛護や正しい飼い方について学校や社会教育の場で十分に取り上げる	21	26.3
動物の愛護や正しい飼い方の普及を進めるボランティア団体などの活動を支援する	18	22.5
動物の愛護や正しい飼い方の相談や要望に応じる行政窓口を充実させる	16	20.0
動物の愛護や正しい飼い方について相談に応じる民間の専門家を養成する	6	7.5
その他	4	5.0

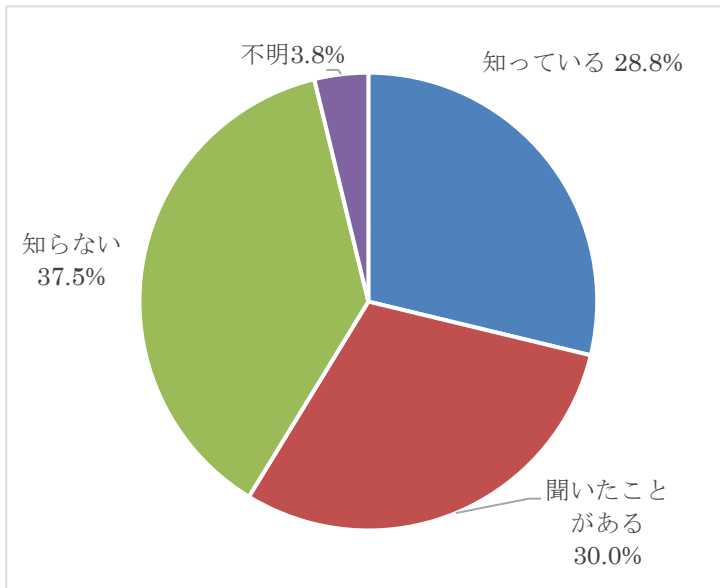
Q19 野良犬、野良猫に餌を与えることについてどのように考えますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
かわいそうなので与えてもよい	3	3.8
責任をもって管理できないのであればやめた方がよい	43	53.8
増えて鳴き声やふん尿などで生活環境を害するので与えない方がよい	26	32.5
その他	5	6.3
不明	3	3.8
計	80	100.2

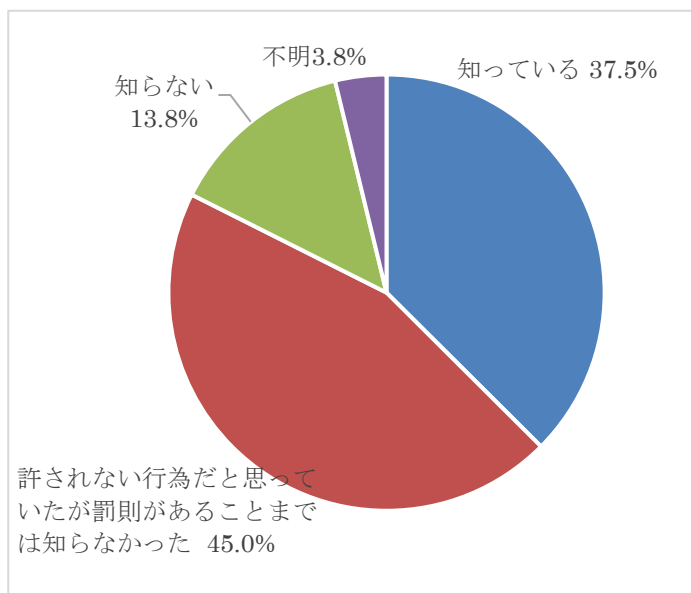
Q20 地域猫活動を知っていますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
知っている	23	28.8
聞いたことはある	24	30.0
知らない	30	37.5
不明	3	3.8
計	80	100.1

Q 2 1 動物を捨てることや飼育放棄などの行為は、「動物の愛護及び管理に関する法律」により、罰金刑のある犯罪行為であることを知っていますか。(1つのみ)

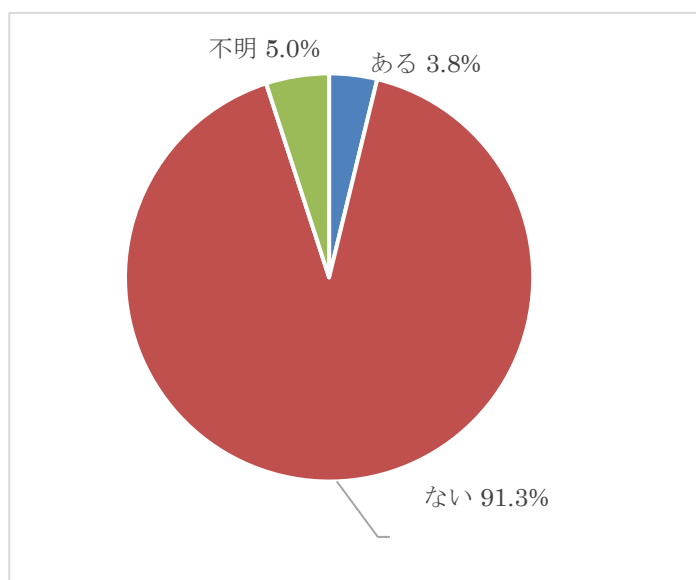


(n = 80)

選択肢	人数	%
知っている	30	37.5
許されない行為だと思っていたが罰則があることまでは知らなかった	36	45.0
知らない	11	13.8
不明	3	3.8
計	80	100.1

【動物取扱業者について】

Q 2 2 ペット動物を取り扱い業者には、ペットショップ、ペットホテル、ペット美容院、動物園などがあります。これまでにこれらの業者から被害を受けたり、トラブルや不快な思いをしたことがありますか。(1つのみ)



(n = 80)

選択肢	人数	%
ある	3	3.8
ない	73	91.3
不明	4	5.0
計	80	100.1

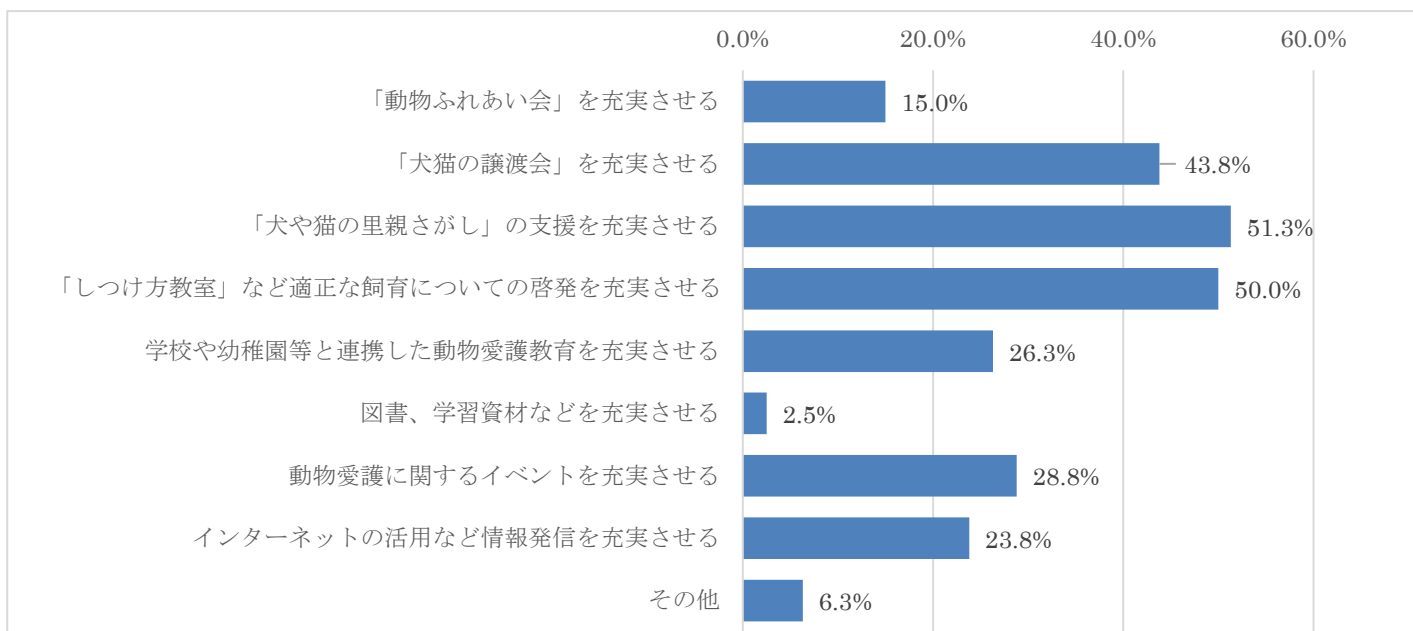
Q 2 3 Q 2 2で「1. ある」と回答された方
どのようなことがありましたか。(いくつでも)

(n = 3)

選択肢	人数	%
動物のふん尿が臭い、鳴き声、ハエやゴキブリなどの発生などの影響があった	1	33.3
劣悪な環境(施設が狭い、汚れて不衛生など)で動物が飼われているのを見たことがある	1	33.3
病気やケガした動物が展示されていた	0	0
ペットショップで購入したばかりの動物が死んだり病気になった	0	0
動物の飼い方について店員の説明が不十分であった	0	0
ペットホテルやペット美容院に預けていた動物が死んだり病気になった	0	0
その他	1	33.3

【山口県動物愛護センターについて】

Q 2 4 山口県動物愛護センターでは、動物の愛護と適正な飼育に関する啓発活動を行っています。今後、どのような取組を期待しますか。(3つまで)



(n = 80)

選択肢	人数	%
「動物ふれあい会」を充実させる	12	15.0
「犬猫の譲渡会」を充実させる	35	43.8
「犬や猫の里親さがし」の支援を充実させる	41	51.3
「しつけ方教室」など適正な飼育についての啓発を充実させる	40	50.0
学校や幼稚園等と連携した動物愛護教育を充実させる	21	26.3
図書、学習資料などを充実させる	2	2.5
動物愛護に関するイベントを充実させる	23	28.8
インターネットの活用など情報発信を充実させる	19	23.8
その他	5	6.3